

農作業の労働力不足に対応した高齢者雇用の可能性

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

農業で労働力不足がある一方で、働く意欲の高い元気な高齢者が増えている。そこで、認定農業者の雇用に対する意向、農業に高齢者労力を導入するメリット・デメリット、高齢者の農作業分野での就労意向等を明らかにしたので参考資料とする。

2 参考資料

1) 認定農業者の雇用者導入状況と将来意向

- (1) 認定農業者の雇用者導入状況は、「雇用している」が約6割、「以前雇用していた」が約1割、「雇用なし」が約3割である。また、今後の雇用について、「増やしたい、もしくは現状の雇用数を維持する」が約7割と最も多く、規模拡大や労力の補填に向けて雇用者を活用する意向が高まっている(図表略)。
- (2) 雇用したことがある回答者(「雇用している」+「以前雇用していた」)の中で、高齢者を雇用したことがある回答者は半数を占め、農業分野では高齢者労力の重要性が大きい(図表略)。
- (3) 高齢者を雇用するメリットは、「時間の融通がききやすい」、「雇用者がみつきやすい」、「仕事が丁寧である」等である(表1)。また、デメリットについては特に感じていない(表2)。
- (4) 雇用する際の要件としては、「人柄が良いこと」、「農作業経験があること」の項目を重視している一方で、「年齢が若いこと」については重視していない(表3)。

2) 高齢者の農業就労意欲

- (1) 高齢者の約半数は、農作業の請負を希望している。
 - (2) 請負希望の理由は、「自然にふれあってみたいから」、「楽しそうだから」、「体によさそうだから」の回答が多い(表4)。
- 3) 「収穫作業」、「管理作業(手刈り草刈り、水まき等)」、「草刈り作業(機械刈り)」は、認定農業者の雇用導入意向と、高齢者の請負希望がともに高い(図1)。

3 利活用の留意点

- 1) 本調査は、認定農業者へのアンケート(仙台市・名取市・亶理町の全認定農業者460名へ農業改良普及センターを通じて配布、回収は郵送。平成17年9月実施。回答者数93名)と、高齢者へのアンケート(仙台市・名取市・亶理町・古川市のシルバー人材センターの会員、各シルバー人材センターの総会時に配布しその場で回収した。平成17年5月実施。回答数は679名)の調査結果をまとめたものである。
- 2) AHP分析とは、人の主観を取り入れながら、各要素の対比較により重要度を計算し合理的に意志決定を促す手法。重要度の数値が大きいほど、その項目(要素)を重視している。

(問い合わせ先：農業・園芸総合研究所情報経営部 電話022-383-8119)

4 背景となった主要な試験研究

1) 高齢者人材資源が農業に参入できる要件の解明と高齢者向け作業指標の作成

(平成17～19年度)

2) 参考データ

表1 高齢者雇用のメリット(複数回答)

項目	(%)
時間の融通がききやすい	52.8
雇用者がみつきやすい	41.7
仕事が丁寧である	38.9
細かい作業を任せられる	30.6
特にメリットはない	22.2
賃金が安い	16.7
その他	22.2

表2 高齢者雇用のデメリット(複数回答)

項目	(%)
特にデメリットはない	50.0
重労働を任せることができない	47.2
作業の指示が大変である	25.0
作業能率に比べて賃金が高い	13.9
休憩をこまめにとらなければいけない	13.9
作業を見ていて危なっかしい	8.3
作業が雑である	5.6

表3 雇用をする際に重視する項目

項目	重要度
人柄が良いこと	0.307
農作業経験があること	0.255
雇用者がみつきやすいこと	0.176
賃金が安いこと	0.143
年齢が若いこと	0.120

C.I. = 0.004

表4 農作業を請け負ってみたい理由(複数回答)

項目	(%)
自然にふれあってみてみたいから	49.3
何でも仕事をしてみたいから	48.6
体に良さそうだから	27.9
楽しそうだから	24.1
簡単そうだから	1.7
その他	5.9

注1) AHPによる分析結果である。

注2) C.I. (回答結果の整合度) が <0.2 の回答者 63 名の分析である。

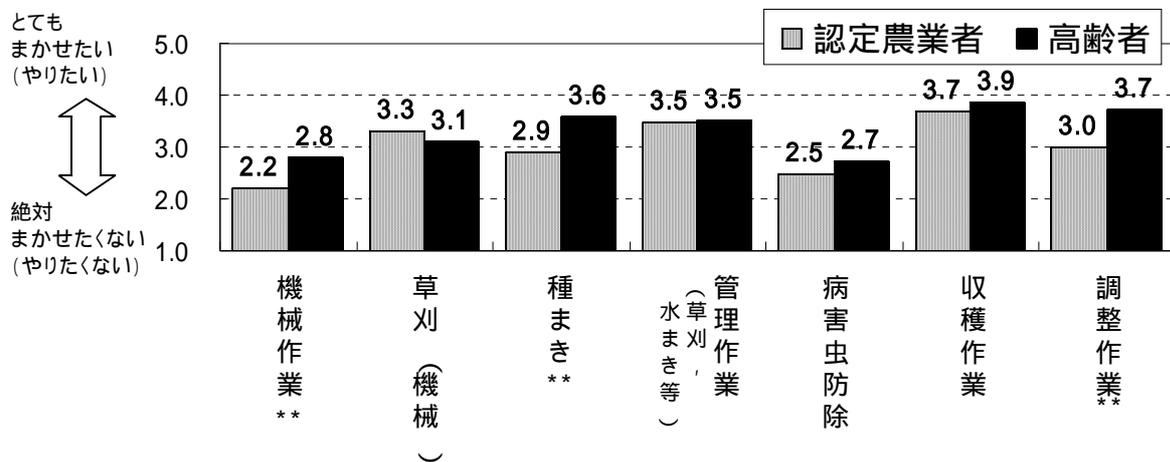


図1 各作業における認定農業者の雇用導入意向と高齢者の請負希望の比較

注1) 認定農業者: 雇用意向のある回答者 53 名, 高齢者: 農作業請負希望のある 212 名

注2) 5段階の回答結果〔1: 絶対まかせたくない(やりたくない)～5: とてもまかせたい(やりたい)〕を合計し, 回答者の人数で平均値を出したものである。

注3) t検定による分析結果で「**」は < 0.01。

3) 発表論文等 なし